

財務資本 新中計期間中は積極的な投資を実施しつつ、自己資本比率50～60%を維持する方針です

日エグループの財務資本は、2021年度末の総資産521億円、投下資本339億円(株主資本301億円、有利子負債38億円)、ネットキャッシュ86億円(現金及び預金124億円)、自己資本比率61.5%もの強いバランスシートを有しています。

新3ヶ年中計期間中は、2030年ビジョンの達成に向けた内部投資フェーズとの位置付けで、投資および株主還元(配当性向60%以上)を積極的に行いますが、自己資本比率50～60%程度を維持する方針です。

強さの源泉

AP関連事業は国内シェア約7割、BP関連事業も国内シェア約4割を誇り、ともにトップシェアを確保しています。当社は安定的な収益計上が期待されるサービス・メンテナンス売上

高が連結売上高の約34%を占めており、高いキャッシュ創出能力を有しています。また、防水板などを手掛けるその他事業は相対的に高い営業利益率を誇っています。

新中期経営計画の財務計画

2021年度末の純資産は321億円でしたが、新中計では2024年度末の純資産を340億円へ引き上げる計画です。

インプット	アウトプット	アウトカム
総資産521億円	売上高388億円、当期利益16億円	安定した収益創出
ネット・キャッシュ86億円	過去3年累計FCF 42億円	高い財務安定性(自己資本比率61.5%)
投下資本339億円	1株配当30円(配当性向70%)	魅力的な配当利回り(約5%)

製造資本 厳格な品質管理の下、高効率な生産体制で高品質な製品をお客様に納入します

兵庫県明石市にある本社工場をマザー工場として国内5工場、海外2工場(中国とタイ)の生産拠点を有しています。お客様最適な製品及びシステムの開発に加え、グローバルなネット

ワークで各種機器資材を調達します。製造部門では5面加工機を含む高精度な工作機械と自動化ラインを組み合わせることで高効率な生産体制を有しています。

強さの源泉

プラント本体のみならず制御盤も内製する自社一貫生産によるトータルサポート体制を強みとしています。高いシェアに加え、全世界50カ国以上、1,000件以上のプラント建設実績を誇

り、安定的な更新需要が各工場の安定稼働に寄与しています。メンテナンス事業に関しては、各種データ活用などを通じた顧客プラントの安定稼働に貢献することを目指します。

新中期経営計画の設備投資計画

新中計では今後3年間で60億円(前中計63億円)の設備投資を計画しています。具体的には明石マザー工場の隣接地にサポート新工場(5億円)を建設するほか、脱炭素に向けた製

品開発などの開発・テストセンター(10億円)を建設する予定です。

製造資本	アウトプット	アウトカム
設備投資19億円(2021年度)	4事業の各製品	安心・安全な道路やインフラの整備
中計達成に向けた十分な生産能力	充実のメンテナンス・サービス	環境に優しいリサイクル社会
国内5、海外2工場	生産金額382億円(2021年度)	社員に優しい生産環境

人的資本 お客様の経営パートナーに選ばれるプロフェッショナル集団を目指します

日エグループでは、2021年度末時点で1,038名(前年比177名増)の従業員が勤務しており、従業員1人当たり売上高は37百万円です。日エ単体ベースの平均年齢は40.8歳、平均勤続年数は15.3年、平均年間給与は3年前の2018年度に比べて40万円増の710万円となっています。新中計では人

材マネジメント基盤・制度の再構築を図り、人的資本の充実に向けて積極的な投資を行う方針です。将来を見据えた長期(10年)基本方針では、従業員の働き方改革の実践を掲げており、業務効率を改善し、労働生産性の大幅な向上を目指します。

強さの源泉

2019年9月には日エグループの従業員に対して譲渡制限付き自己株式を付与しました。2021年8月には永年勤続者および新入社員と中途社員に対して100株の自社株付与を行いま

した。なお、2022年4月より従業員の月額給与を一律3万円引き上げました。次世代の育成支援や女性活躍推進も強化しており、組織の更なる活性化とモチベーションの向上を図ります。

新中期経営計画の人材採用計画

前中計では日エ単体ベースで69名の増員を図りました。新中計では3年間で145名の増員を予定しています。具体的には、AP事業領域で59名、BP事業領域で20名、環境搬送領

域で12名、海外事業で6名、開発で12名、モバイルプラントで11名、その他で25名です。

人的資本	アウトプット	アウトカム
社員数1,038名(うち外国人194名)	1人当たり売上高37百万円	高い働きがい
女性従業員数59名(単体ベース。うち新卒6名)	年間有給取得日数10日	働きやすさの向上
年間教育費11百万円	勤続年数(男性18.7年、女性11.0年)	高いモチベーション

知的資本 社会課題の解決に向けて、高い技術力に裏打ちされたトップメーカーを目指します

AP関連事業を中心とした環境貢献製品(グリーントランスフォーメーション)およびASEAN市場攻略のためのグローバル標準製品の開発、更にはAPおよびBP関連事業の各種プラ

ントにおけるデータ分析やIoT、AI技術などを駆使したプラントの遠隔監視・遠隔操作などのサービス・メンテナンス事業の強化に向けてDX分野への研究開発を強化する方針です。

強さの源泉

APおよびBPのみならずコンベヤも約6割の国内トップシェアを誇っており、市場シェアは着実に上昇傾向にあります。ミキシング(混練)、加熱、搬送(コンベヤ累計出荷台数30

万台)、制御(プラントの頭脳を自社開発)の4つの差別化コア技術に加え、自社一貫生産によるきめ細かなトータルサポート体制があります。

新中期経営計画の研究開発投資計画

前中計では3ヶ年で約12億円の研究開発投資を実施しました。新中計では約25億円へ増加させる計画です。AP事業では環境対応新製品の開発、遠隔化・自動化サポート分野の強化、

海外市場開拓に向けた標準モデルの開発を進めます。BP事業では運営支援センター、製品改良やシステム開発、環境搬送事業では新製品開発、EC・IT投資を強化する方針です。

知的資本	アウトプット	アウトカム
研究開発費(約4億5千万円、売上高比率1.2%)	CO ₂ 削減貢献製品売上高(AP事業約4億円)	高い差別化技術(自社製制御盤など)
開発人員24名(連結従業員数の2.4%)	AP研究開発重点分野(10件)	他社を凌駕する環境貢献製品
保有特許件数228件	多様な顧客ニーズを満たすカスタマイズ製品	新たな市場の創出

社会・関係資本 お客様、お取引様、地域社会との強い信頼関係の構築に努めます

お客様第一主義を経営理念とし、「企業を通じて社会に奉仕する」を社是に掲げています。持続可能なサプライチェーンの構築に加え、強みであるMS事業は195社の指名工店を

抱えるアキツ会と価値を協創しています。また、日エ記念財団では兵庫県出身学生を支援しています。明石市へ防災用品の寄贈や新型コロナウイルス対策の寄付も行っています。

自然資本 地球市民の一員として、環境に優しい企業を目指します

本社工場では環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を受けています。また、地球市民の一員として、「環境優先」の基本理念に基づき、地球環境の保全を

最重要課題の1つであると認識しています。各生産拠点では継続的な環境保全と改善に取り組み、製品開発では環境貢献製品の製品化に注力しています。